

定期上映会 「戦傷病者の証言」 ～南方編（1）～

5月10日（火）～6月12日（日）

南方で受傷・罹患された戦傷病者と医療従事者の証言を当館1階証言映像シアターにて上映します。

プログラムA（合計約51分）10時～、14時～			
タイトル	所要時間	傷病名	受傷地
信じあえばこそ、今	約15分	右足関節骨折貫通砲弾破片創、右足首機能障害	印度領ビシュンプール
生きる・・・ それは死ぬよりつらかった	約10分	全身爆創両前膊切断、左眼失明	駆逐艦乗船中トラック諸島附近
手の代わりに腕が・・・	約10分	両腕切断、左眼失明	駆逐艦船上、ナウル島
想いを絵筆に込めて	約16分	左前膊骨折、マラリア、左腕機能不全	ビルマ
プログラムB（合計約49分）11時～、15時～			
タイトル	所要時間	傷病名	受傷地
見た目はなんでもないが・・・	約10分	右肩胛骨貫通銃創、左手首貫通銃創、右腕及び左手首機能障害	パラオ島沿岸
感謝、そして人との和	約19分	頭部貫通銃創、左肩胛部盲管砲弾破片創、頬下部破片創、左眼中間砲弾破片創、右脚部挫創	インド アッサム州 コヒマ
片腕で取った自動車免許	約20分	左上膊骨折貫通銃創兼左上肢左肩胛部左前胸部左側胸部瓦斯壊疽兼マラリア、三日熱	インド アッサム州 ポッサムバム
プログラムC（合計約51分）12時～、16時～			
タイトル	所要時間	傷病名	受傷地
人生を変えた職業訓練	約17分	左背部盲管爆弾片創、右髂多肩胛骨複雑骨折后胎症、左腕機能障害	レイテ島近海
西部ニューギニア・軍医の闘い	約24分	（元軍医）	
衛生兵の受傷	約10分	左下腿切断	レイテ島沖
プログラムD（合計約53分）13時～			
タイトル	所要時間	傷病名	受傷地
南方の戦火をくぐった救護看護婦	約14分	（元日本赤十字社救護看護婦）	
失明の夫を支えて	約18分	両眼負傷、両眼失明	フィリピンソン島 マバタン半島カラギナン附近
生かされた人生への感謝	約21分	左上膊貫通銃創同盲管銃創（砲弾破片）同擦過傷	シンガポール・ブキテマ

以降のプログラムは逐次当館ホームページ又は館内掲示にてお知らせします。

※尚、団体利用等により、上映プログラムに変更がある場合がございます。予めご了承下さい。